

創つくるる

vol.163

令和4年1月1日発行

ごあいさつ	1
現場紹介	7
美食めぐり	11
トピックス	12
防災日誌	18
協会だより	19



島田市大代に今年もジャンボ干支がお目見えしました。2022年は寅年（とらどし）です。
地元の地域おこしグループ「王子田会」が制作した寅の親子が出迎えてくれます。





謹
賀
新
年
2022



一般社団法人
島田建設業協会会長

朝倉 純夫

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は会員並びに関係者の皆様方には、当協会の事業活動に対しまして、ご理解と多大なご協力を賜わり、心より御礼を申し上げます。

さて、昨年10月、衆議院の解散総選挙が行われました。その結果、自民・公明両党の与党が絶対安定多数を確保し、岸田政権に対しては、コロナ対応やコロナ禍からの暮らしの立て直し、危機管理の徹底や国土強靱化に向けた政策推進など、成長と分配の実現に期待しているところでです。

また、国土交通省では、国民の安全・安心の確保、社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大、豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくりを政策の柱として、引き続き取り組んでいくと聞いております。

一方、災害関係では、2年以上に及ぶ新型コロナウイルスの影響や7月の熱海市での大規模な土石流災害など、地域の生活や産業等に甚大な被害をもたらす災害が頻発しております。

地域の建設業は、社会資本の着実な整備を担う地域の担い手であると同時に、地域の経済や雇用を支援、災害時には最前線で地域社会の安全・安心を確保するなど、「地域の守り手」として、国民生活や社会経済を支える上で重要な役割を担っています。

しかしながら、建設業の経営を取り巻く環境は厳しく、担い手の高齢化や若手入職者の減少といった構造的な問題が生じておりますが、地域の安全・安心の守り手であり、地方創生の主体でもある地域建設業が、その社会的使命を引き続き果たしていくためには、健全で安定した経営を継続する必要があります。安定的・持続的な事業量の確保と中・長期的な担い

手確保が不可欠です。

新・担い手3法を踏まえ、「建設業の働き方改革の促進」「建設現場の生産性の向上」「持続可能な事業環境の確保」を一層推進するためにも、会員企業や行政・関係団体の皆様と緊密な連携を図りつつ、何よりも良質な建設サービスの提供に努めることにより「魅力ある地域建設業」の持続的発展に向けて、精一杯努力してまいります。

新型コロナウイルスの感染症対策は今後も継続的に必要ですが、「ポストコロナ」に向けた取組を着実に進めていく年にしていきたいと思っております。

会員企業をはじめ関係の皆様には、感染防止にご留意いただきますとともに、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。





一般社団法人
島田建設業協会副会長
山田 壽久

新年あけましておめでとうございます。
協会会員の皆様方におかれましては、穏やかに新年を迎えることと、お慶び申し上げます。

昨年コロナ禍の中、協会の事業に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の10月1日に緊急事態宣言も解除になり、ようやく少しづつ普通の生活が取り戻せるようになって参りました。そんな中、昨年も異常気象による災害が日本全国で発生いたしました。静岡県においては熱海伊豆山地区の土石流災害において26名もの尊い生命が奪われ、未だに1名が行方不明のままとなっております。被災された皆様には謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

地球温暖化による風雨被害の増大に加え、近年多発している地震等の自然災害からの復旧に携わる地域の建設業者の重要性は従来以上に増しております。

加えて、建設業界共通の課題であります若年労働者確保は喫緊の課題であり、「働き方改革関連法案」の猶予期間満了を2年後に控えてその対策に真剣に取り組んでいく必要があります。若手の確保、職場への定着、戦力としての育成等、課題は山積していますが、協会運営を通して、一つ一つ問題の解決に努力して参りたいと思います。皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

「コロナ禍」は一応鎮静の様相を見せていますが、第6波への備えや「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据えた体制を整える必要があります。まだまだ気を抜くことはできませんが、本年が皆様にとりまして、最良の年になります事をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
島田建設業協会副会長
鈴木 徹

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、協会運営・各委員会活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

昨年全国では新型コロナウイルス、我々の業界ではウツドショック・燃料資材の高騰などに振り回され、更に異常気象による災害が日本全国で多数発生し、大変な年でした。

とりわけ、熱海の土石流災害では大勢の犠牲者を出してしまいご冥福をお祈りすると共に、原因が不良工事である事が大きく、我々土木業者のイメージダウンは計り知れないと思います。ましてやマスコミは自衛隊・消防団・警察・ボランティア等の活躍のみ報道し、地元建設業者の懸命な応急復旧活動は無視されており、業界の担い手不足がさらに進行するのは必至でしょう。

しかしながら、予想される巨大地震や毎年起こる「数十年に一回」の大規模自然災害に対して、我々は地域の安全・安心を確保し「国土強靱化の担い手」としてその役割は益々大きくなっていきます。そこで、我々のモチベーションを上げるべく、地域建設業の社会的役割やその災害復旧活動等を協会と県が連携して、幅広く世間へ情報発信をせねばなりません。県の広報委員会へ出向している私の使命であると思いますので、皆様のご意見ご要望をお待ちしております。

他にも働き方改革による週休2日の定着、就労環境の改善、職人や担い手の確保・育成、ガードマン不足による自家警備の対応等々、協会が取り組むべき問題は山積みです。会員の皆様方と知恵を出し合って一つ一つ解決していきましょう。

結びに、本協会と会員皆様の会社が発展し、充実した年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
島田建設業協会副会長
梶山 基

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、日々協会運営、事業活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症変異株の世界的拡大により、国内でも1日の新規感染者数が最大で2万5000人を超え、県内で緊急事態宣言が発令されるなど、一昨年以上を上回るほどの危機的状況に直面致しました。一方で、ワクチン接種の動きも急速に広まり、接種率は2009年に猛威を振るった「新型インフルエンザ」以上のペースで進んでおります。

コロナ禍により、「テレワーク」「リモートワーク」といった「新しい生活スタイル」は、人々の間で定着してきており、より一層、従来の働き方からの意識改革を進めていかなくてはなりません。

また、昨年9月にはデジタル政策を一元化し、デジタル技術を社会に浸透させるために「デジタル庁」が設立されました。5月にはデジタル改革関連法が成立し、国を挙げてDXの動きを本格化させる中で、建設業界でも現場でBIM/CIMの活用への機運が高まってきております。インフラ分野でのDXの推進により、生産性や安全性の向上をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した非接触・リモート型への働き方への転換も目指していく必要があります。

さらには、担い手確保といった喫緊の課題を克服するためにも、引き続き業界の魅力や就労環境の改善に取り組んでまいります。

本年も皆さまのご多幸とご健康を祈願して、結びの文と致します。

ご挨拶



自民党・衆議院議員

井林 辰憲

新年あけましておめでとうございます。(一社)鳥田建設業協会の皆様には、晴れやかな新年をお迎える事とお慶び申し上げます。

建設業は社会資本整備の担い手であると同時に、地域の経済や雇用を支え、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担うなど、「地域の守り手」として、国民生活や社会経済を支える役割を担っております。そのような重要な役割を担っていただいている協会の皆様に感謝申し上げます。

また、昨年の衆議院解散総選挙において、協会の皆様から絶大なご支援を賜り4期目の当選をさせて頂くことが出来ました。頂いたご支援にお応えするためにも、国政に邁進し、建設業界の健全な発展と、豊かな郷土づくりに全力を尽くしていく決意です。

さて、これからの建設業は戦略的・計画的な社会

資本整備を実現するとともに、建設産業の人材確保・育成等を図る観点からも、安定的・持続的な公共投資の見通しが必要となります。一昨年は事業規模15兆円の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が決定されたところですが、引き続き、必要かつ十分な公共事業予算の安定的・持続的な確保に向けて力を尽くしてまいります。

また、令和元年6月に成立した新・担い手3法等に基づき、処遇改善や働き方改革など、建設業における担い手の確保・育成に向けた環境整備も急務となっております。

処遇改善につきましては、公共工事設計労務単価の平成25年度以降9年連続となる引上げを通じて、建設技能者の賃金は着実に改善が図られつつあるところであり、また、昨年3月の国土交通大臣と建設業4団体の意見交換会において、「令和3年は概ね2%以上の賃金上昇の実現を目指す旗印のもと、全

ての関係者が可能な取組を進め、さらに翌年以降も継続して賃金上昇に向けた取組を進める」とことされたところです。担い手の確保・育成のためには、賃金の引上げが公共工事設計労務単価等の上昇を通じて、更なる賃金の引上げにつながるという好循環が継続されることが必要であり、関係者と連携して取り組む決意です。

働き方改革につきましては、罰則付き時間外労働規制の適用が令和6年4月に迫っており、週休2日制の普及・定着などが急務となっております。そのため、工期の適正化や施工時期の平準化の推進、必要となる経費の確保等について、官民を問わず広く関係者に働きかけてまいります。

引き続き、建設業の担い手確保・育成に全力を尽くしてまいります。今年度も、変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



牧之原市長

杉本基久雄

「はじめに」
（一社）鳥田建設業協会の皆さまにおかれましては、日頃から牧之原市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたびの市長選挙におきまして、「牧之原市の輝く未来に向けて全力投球」をスローガンに掲げ、牧之原市長2期目に無投票で再選いただき、再び、市政運営の重責を担わせていただくこととなりました。引き続き、リーダーシップを発揮し、今後4年間の市政運営の舵取り役として、皆さまのご期待にお応えできるよう取り組んでまいります。

◆建設業とのかかわり
私には、これまで職員時代や副市長職を含みますと46年間の行政経験がありますが、その多くを建設部門として携わってきました。
都市計画道路や主要幹線道路、河川・橋りょう等のインフラ整備をはじめ、富士山静岡空港建設に係る地域振興や農業対策等の業務に従事しました。い

◆今後のまちづくり
牧之原市では、昨年4月に市民待望の図書交流館「いこっと」が開館しました。この施設は、県内で初めて、公営ライブラリーと民間施設との境目が無く行き来ができる公民連携施設です。
また、昨年7月には、日本初のサーフィン専用のウェーブプールが開業し、東京五輪のホストタウンとして、サーフィン競技米国代表をお迎えしました。幸いにも、米国女子選手が金メダルを獲得し、当市のサーフィン文化を国内外に発信することができました。これを機に沿岸部の交流人口の拡大を図り、活性化に繋がるよう努めてまいります。
現在、東名高速道路相良牧之原インターチェンジ周辺では高台開発も進めており、沿岸部エリアと高台エリアが連動した「富士山型ネットワーク」によるまちづくりを進め、若者の賑わいや雇用創出、定住



静波サーフスタジアム



図書交流館「いこっと」

◆結びに
この2年間は、コロナ禍による未曾有の危機への対応が求められ、経済は疲弊しております。また、資材の高騰や人材不足に加え、公共事業が減少している中で、地方の建設業界は大変ご苦労されていると思います。しかしながら、経済の再生、市の発展にとって必要不可欠な社会資本の整備は、地域の建設業の皆さんなくしては成し得ません。今後とも地域の発展のため、（一社）鳥田建設業協会の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

ご挨拶



川根本町長

菌田 靖邦

（一社）鳥田建設業協会の皆さまにおかれましては、日頃から川根本町政にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびは十月の選挙にて川根本町長に就任させていただきます。このたびは十月の選挙にて川根本町長に就任させていただきます。このたびは十月の選挙にて川根本町長に就任させていただきます。

私は、家業である農業の傍ら建設業、測量業に携わり、歩んでまいりました。まさに、貴協会広報誌のタイトル「創る」といった仕事は日常で在った時もございました。

道なき道にセンターを通し、道の創造をする測量や重機を使った土木作業、管理業務等の「現場」での

仕事は私の半世紀でありますので、当時から知りの皆さんの顔に懐かしさを覚えます。

◆ 今回、町民の皆様は訴えてきた私の思いを、お伝えしたいと思います。

◆ すべての町民が安心して暮らせる町に

「町民が健康で過ごせるための健康づくり、医療体制の維持・推進」

「高齢者や障がいのある方々が自立し、生き生きと元気で過ごせるための生活支援とサービスの強化」

（食料品移動販売、外出支援の充実等）

「仕事と子育ての両立がなされ、子供を育てたいと思える環境づくりの推進」

（二歳児までのオムツ無償化、将来につながるICT・IoT教育の充実等）

◆ ここに住む人々の安全な暮らしを守る

「町民と行政が一体となって取り組む危機管理対応の推進と防災減災対策の強化」

（消防局、消防団、地域との連携強化、災害に強い生活道への強化推進 等）

「新型コロナウイルス感染症対策の円滑な推進により、大切な町民の生命を守る」

「リニア工事に伴う「大切な水」を守り他市町との連携で自然環境を保護する。」

◆ 未来、創造を繋げる町に

「移住定住対策の強化推進」

「女性力の活用推進や地域内外のマンパワーをフル活用し、町の賑わいを創出する」

「恵まれた自然、文化を次世代に繋げ、住民誰もが川根本町を誇りに思える環境創出」

「ICTを活用した企業誘致、既存施設の有効活用・SDGsの促進」 などによりすべての町民の明るい笑顔、幸せを常に思い描きながら、川根本町の未来のために邁進してまいります。

町の発展にかかせない社会資本の環境の整備において、地域の建設業の皆さんの存在が本当に大切だと思っております。

◆ 建設業界について

最近では、特に災害が頻発化、局地化して来ましたが、防災をすすめると共に災害が発生した時には、人、モノ（重機）など地元建設業の初動体制には大いに期待しております。

今後とも地域発展のため、（一社）鳥田建設業協会の皆様のお力を賜りますよう、よろしく

お願い申し上げます。

つといたします。



ICT教育

Let's go to watch illuminations

イルミネーションを 観にいこう！

ルミスタ☆ふじえだ ～ファンタジックイルミネーション～

点灯期間 令和4年3月11日金まで
点灯時間 午後5時～午後10時
 ※2月以降は午後6時～午後10時
場 所 JR藤枝駅北口広場・南口広場、
 駅南通り



写真提供：ぬまちづくり藤枝

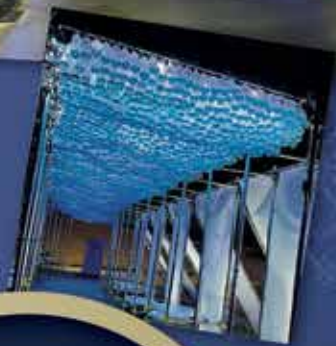
蓮華寺池公園 イルミネーション

点灯期間 令和4年2月28日月まで
点灯時間 午後5時～午後9時
場 所 蓮華寺池公園



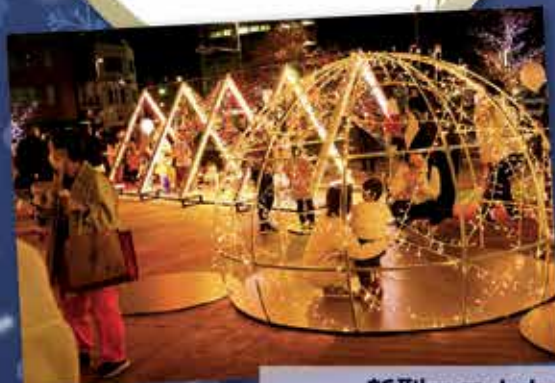
YAIZU HIKARIDE ーヤイツヒカリデー

点灯期間 令和4年1月10日(月・祝)まで
点灯時間 午後5時～午後9時
場 所 ターントクルこども館・
 JR焼津駅前通り商店街



島田駅前 パークイルミネーション

点灯期間 令和4年2月27日日まで
点灯時間 午後5時～午後10時
場 所 島田駅北口駅前広場
 及び駅前緑地



写真提供：島田市

天王山冬まつり 天王山イルミネーション

点灯期間 令和4年2月14日月まで
点灯時間 午後5時～午後9時
場 所 川根町天王山公園



写真提供：NPOまちづくり川根の会
※写真は前回のものです。



新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願い

- ▶ マスクの着用をお願いします
- ▶ 人との距離はできるだけ間隔（2M）を空けてください

紹介

令和元年度二級河川葉梨川総合流域防災事業
(防災・安全交付金) 工事(河床掘削工・藤岡工区) (ICT導入型) 【株式会社 丸川組】

● 工事概要 ●



着手前

工事名 令和元年度二級河川葉梨川総合流域防災事業 (防災・安全交付金) 工事(河床掘削工・藤岡工区) (ICT導入型)

工事箇所 藤枝市 藤岡2丁目 地先

工期 令和2年3月31日～令和3年1月29日

施工者 株式会社 丸川組

発注者 静岡県島田土木事務所

現場代理人 北村 泰士

工事概要 掘削工 2,300㎡



完成



掘削工

工事のポイント

本工事では、ICT技術を用いた施工管理及び3次元データ納品を実施した。施工はマシンガイダンスを使用し、バックホウにて正確に行った。



積込み



ドローン測量

現場

令和2年度(国)473号橋梁改築工事(2号橋下部工)

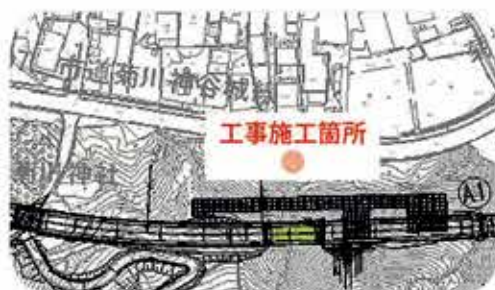
【株グロージオ】

● 工事概要 ●



着手前

工事名	令和2年度(国)473号橋梁改築工事(2号橋下部工)		
工事箇所	島田市菊川地内		
工期	令和2年9月18日～令和3年6月30日		
施工者	(株)グロージオ		
発注者	静岡県島田土木事務所		
現場代理人	安保 大樹		
工事概要	作業土工	1,330㎡	
	残土処理工	1,190㎡	
	深礎工	Φ2000mm L=14.0m	4本
	橋台躯体工	A1橋台	129㎡
		A2橋台	167㎡
	土留・仮締切工	A1側仮設土留工	1式
		A2側仮設土留工	1式
	仮橋・仮栈橋工		1式



完成



工事のポイント

橋台を支える深礎杭の施工で1m毎に地質を確認し設計時に想定した地質条件であるかを確認しました。

また、狭い施工ヤードで橋台構築工事を行うので綿密な施工ヤード計画を行い、スムーズな施工を実施しました。



深礎杭掘削状況

紹介

令和2年度農地中間管理機構関連農地整備事業 静波地区区画整理1工事

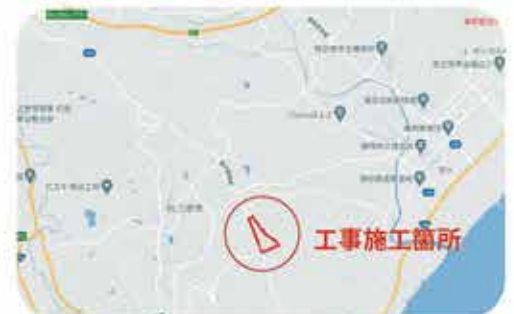
【株式会社 加藤組】

● 工事概要 ●



着手前

工事名	令和2年度農地中間管理機構関連農地整備事業静波地区区画整理1工事		
工事箇所	牧之原市静波地内		
工期	令和2年6月26日～令和3年2月26日		
施工者	株式会社 加藤組		
発注者	静岡県志太榛原農林事務所		
現場代理人	今村 雅良		
工事概要	区画整理		6.4ha
	ほ区内支線農道	幅員4.5m	L=573m
	714支線農道	幅員4.5m	L=106m
	表土掘削・仮運搬・まき戻し		20,700㎡
	基盤土掘削・運搬・押土		6,181㎡
	排水暗渠工		L=5,354m
	基盤整地工		3.46ha
	畑面整地工	混層耕	5.63ha



完成



ICT設定状況

工事のポイント



本工事は施工面積が広く、工期短縮と施工管理を容易にするため、ICT建機を使用しました。

マシンガイダンス付きバックホウ及びマシンコントロール付きブルドーザーにより丁張をできる限り少なくし、時々キャリブレーションをして精度の高い仕上げを実現し工程の短縮も出来ました。出来形管理については、自動追尾トータルステーション使用し簡素化ができた。

マシンコントロール
バックホウ施工状況



ICTブルドーザー
施工状況

現場

令和2年度治山(緊急)カラシ尻工事

【株式会社 神田組】

● 工事概要 ●



着手前

工事名
工事箇所
工期
施工者
発注者
現場代理人
工事概要

令和2年度治山(緊急)カラシ尻工事
榛原郡川根本町東藤川地内
令和2年12月15日～令和3年6月30日
株式会社 神田組
静岡県志太榛原農林事務所
大橋 達佳
法切工 1.0式
モルタル吹付工 560㎡
厚層基材吹付工 1,000㎡
残土処分 500㎡



工事施工箇所



完成



作業状況

工事のポイント

現場が崩落地であり、人力での作業が困難な為、切土工にてRCM(ロッククライミングマシン)工法による掘削を行った。



作業状況



美食めぐり

No.04 寿司割烹 魚中



今回ご紹介するお店は、全国放送TVでも取り上げられ雑誌でも何度も掲載され2010年度には優良食品店等コンクール農林水産大臣賞を受賞した寿司割烹「魚中」さんです。魚中さんは寿司部門と鮮魚部門があり、どちらも鳥田市では超人気店です。鮮魚部門があるからこそ、プロの目利きが毎朝「焼津の小川港」等で水揚げされ厳選された極上の鮮魚を仕入れ、どの様にしたら美味しく食して貰うかを常に親方は研究し、お客様に提供しているのですから行列の出来るお店なのは当たり前ですね。TVで出川哲朗が絶賛したのも頷けます。

夜の部は予約された方がいいですが、昼の部（ランチ）は予約が出来ないので注意して下さい。

店舗名 寿司割烹 魚中
 営業時間 11:30～14:00
 17:00～21:00(しばらくの間、20:00まで)
 定休日 毎週月曜日、第2・3火曜日(変動あり)
 住所 鳥田市中心中央町24-19
 電話番号 0547-37-6262
 駐車場 25台完備
 H P <http://uonaka.p1.bindsite.jp>
 face book 寿司 魚中



TOPICS

～こんな動きがありました～



労働災害「ゼロ」を目指して安全大会開催

建災防島田分会は、7月6日（火）に島田市金谷生きがいセンター（夢づくり会館）において、島田労働基準監督署長や島田土木事務所長を来賓としてお招きし、「令和3年度島田地区建設業労働災害防止安全大会」を開催しました。

最初に会員から募集した安全標語の優秀作品の表彰を行い、続いて八木安全指導者が安全の誓いを朗読しました。

その後、島田労働基準監督署の松田第二方面主任監督官による「建設業における労働災害防止について」と題した講演、山本防災委員長による労働災害防止研修、島田土木事務所大塚検査監による安全講習会を開催しました。



コロナ禍で今年度初めての「安全パトロール」を実施

新型コロナウイルス感染症状況を確認した上で、7月21日（水）に島田労働基準監督署及び島田土木事務所との合同パトロールを行い、安全指導者ほか22名が9つの指導工事現場に分かれ、各現場において安全指導を実施しました。

藤枝・岡部地区では、藤枝市堀之内の急傾斜地崩壊対策工事現場を点検し、書類や掲示物、建設機械などの安全対策を確認しました。



机上で疑似体験 道路啓開指示・伝達ワーキングを開催

道路啓開計画の実効性向上を目的に、道路管理者と協定業者間の道路啓開オペレーションに特化したワーキングが7月27日（火）に島田土木事務所会議室において開催されました。

焼津市、牧之原市、吉田町の会員8社9名が参加し、災害時を想定した付与情報（被害情報）をもとに、道路管理者、関係機関、協定業者との間で行う道路パトロール（指示、報告）、道路啓開（指示、報告）、通行規制等の一連の流れについて、グループワークを実施しました。



猛暑の中、「道路愛護運動」に取り組む

8月の「道路愛護月間」には、市町や住民、ボランティアが参加し、安全で快適な道路環境を確保することを目的に道路愛護運動が展開されています。

当協会においても、会員が道路除草やカーブミラー・ガードレールの清掃などに取り組みました。猛暑の中、大勢の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。



静岡国道事務所と静岡河川事務所が災害対策車両操作訓練を開催

9月8日（水）に静岡市安倍川左岸河川敷を会場に、中部地域の地区協会を対象として、災害対策用機械の操作技術等習得のための訓練が実施され、当協会から13社26名が参加し、災害復旧活動で使用する照明車の操作訓練と排水ポンプ車の操作、排水作業を行いました。



島田土木事務所との 意見交換会を開催

9月28日（火）に島田土木事務所との意見交換会を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者は最小限とし、土木事務所からは大滝所長、青木次長ほか幹部職員が、協会からは正副会長と事務局長が参加しました。

会議では、協会が提出した意見・要望等について、土木事務所と忌憚のない意見交換を行うとともに、情報や意識の共有に努めました。



志太榛原農林事務所との 意見交換会を開催

島田土木事務所との意見交換会に引き続き、同日9月28日（火）に志太榛原農林事務所との意見交換会を行いました。

志太榛原農林事務所からは岩崎所長、諸田農山村整備部長ほか幹部職員が、協会からは正副会長と事務局長が参加しました。

会議では、協会が提出した意見・要望等について、農林事務所と意見交換を行いました。



第2回親睦ゴルフコンペを開催

5月に開催したコンペに続き、新型コロナウイルス対応のコミュニケーションとして、当協会会員間の親睦を深める目的で、有志による第2回親睦ゴルフコンペを11月12日（金）に静岡カントリー 島田ゴルフコースで開催しました。

当日は朝倉会長はじめ13名の会員が参加し、会員間の有意義なコミュニケーションの機会となりました。



道路啓開実動訓練を開催

南海トラフ地震により、県道で車両の転倒、瓦礫散乱や倒木、電柱倒壊や電線被害が発生したことを想定した訓練が11月24日（水）に藤枝総合運動公園において開催されました。

今回は、当協会や電力、電気通信などの関係機関が、道路上の障害物を撤去し緊急車両が通行できるように道路啓開を行う実働訓練を実施しました。



島田工業高校生徒との研修会を開催

静岡県土木施工管理技士会島田地区は、11月25日（木）に島田工業高校に出向いて都市工学科の生徒を対象にした研修会を開催しました。

研修会では、工事現場の紹介や、卒業生と生徒との懇親会を行い、参加した生徒は熱心に話を聞いたり、質問をしたりしていました。



「静岡どぼくらぶ」講座に協力しました

「静岡どぼくらぶ」講座として、12月16日（木）に県立相良高等学校で静岡県が主催する出前講座が開催され、講師として参加した（一社）島田建設業協会の協会員（㈱グロージオ）が、高校生に建設業やICT施工のイメージを伝えるため、ドローン操作の実演と工事や災害現場への活用方法などの説明を行いました。



ドローン



令和3年度静岡県優良建設工事表彰を 多数の協会員がめでたく受賞

令和3年度静岡県優良建設工事表彰者が決定し、優れた成績を収めた優良工事や優良技術者等の当協会員が多数受賞しました。部長表彰は8月20日（金）に静岡市のしずぎんユーフォニアで表彰式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、各事務所長表彰に併せて授与されることとなりました。受賞された皆様、おめでとうございました。

交通基盤部長表彰（土木）

- ・優良技術者部門 北川 雅規 （㈱エコワーク）
- ・地域貢献工事部門 ㈱梶山組

経済産業部長表彰（農林土木）

- ・優良技術者部門 海野 洋司 （㈱山田組）

島田土木事務所長表彰

- ・優良工事部門 ㈱丸紅
- ・優良技術者部門 モン アウン （㈱エコワーク）
- 同 原田 賢一 （大石建設㈱）
- ・地域貢献部門 ㈱柳澤組
- ・ICT優良工事部門 相良建設㈱
- 同 徳山建設㈱
- 同 ㈱柳澤組

志太榛原農林事務所長表彰

- ・優良工事部門 三村建設㈱
- ・優良技術者部門 鈴木 勝
- ・地域貢献部門 ㈱山田組
- 同 ㈱加藤組
- （㈱山田組）





令和3年度日本道路協会 会長表彰を受賞

公益社団法人日本道路協会が道路建設業務に多年にわたり精励し、他の模範となる功績のあった方を道路功労者として表彰しております。7月28日付けで当協会から推薦した方の表彰の決定通知がありました。なお、表彰式は新型コロナウイルスの影響で中止となっています。

日本道路協会会長表彰 浅田 剛 (共和建設㈱)



令和3年度静岡県優秀 施工者知事表彰を受賞

建設現場で働く優れた建設技術 技能労働者に贈られる知事表彰を当協会から2名の方が受賞され、11月30日(火)に静岡市産学交流センターで開催された「建設産業構造改革推進のつどい」の席上で表彰されました。

村松 達夫 (㈱グロージオ)
村松 宏明 (㈱山田組)



令和3年度「建設ジュ ニアマスター」を受賞

建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事し、すぐれた青年建設現場従事者を顕彰する「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」(建設ジュニアマスター)について、当協会から2名の方の顕彰の発表が10月1日付けでありました。なお、顕彰式は新型コロナウイルスの影響で中止となっています。

建設ジュニアマスター 杉山 登 (㈱エコワーク)
同 長房 崇 (㈱原小組)



労働災害防止に貢献した個 人、事業場が栄えある受賞

建設業における労働災害防止に長きにわたり貢献した当協会員が、10月22日(金)に静岡労働会館で開催される第48回静岡県建設業労働災害防止大会において表彰される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となっています。受賞された皆様おめでとうございました。

建災防静岡県支部長表彰

- ・ 事業場賞 (㈱田崎組)
- ・ 事業場賞 共和建設㈱
- ・ 事業者賞 野ヶ本建設㈱
- ・ 功労賞 推薦元 共和建設㈱
- ・ 功績賞 北村 泰士 (㈱丸川組)
- ・ 功績賞 西尾 真哉 (本橋建設㈱)
- ・ 功績賞 田崎 弘幸 (㈱田崎組)
- ・ 職長賞 青島 佑記 (興和建設㈱)



災防日誌

災害防止への取り組み



『新型コロナウイルス対策』

日頃は、建災防安全パトロールにご理解とご協力いただいておりますことお礼申し上げます。

コロナ禍で長期にわたり感染症対策をされていると思いますが、現場で働く仲間はもちろんのこと、家族や友人など大切な方々に感染を広げないためにも、あらためて行政機関から発信されている情報をご確認いただき、これまで同様、感染予防対策を徹底していきましょう。

職場における新型コロナウイルス感染症の大規模な感染拡大を防止するためには、事業者、従業員等それぞれが、職場内外での感染防止行動の徹底について正しい知識を持って、建設現場やオフィス等の実態に即した対策に取り組むことが必要です。安全パトロールにて、体温チェック、消毒液の配備、手洗い場設置等の感染予防対策をしている現場もありますが、それにプラスし新型コロナウイルスの基本的な知識も含めた労働衛生教育や、日々の体調管理等も含めた健康管理に留意して取組を実施していくと、さらに良いと思えました。また、国土交通省や厚生労働省などのホームページに新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインもあります。情報収集を行い、変化していくコロナ禍を乗り切っていきましょう。

最後に、コロナ対策も大事ですが、基本となる無事故無災害にも忘れず、労働災害撲滅を切に願います。ご安全に！

災防委員 (株)柳澤組 菊池寛



協会だより ~協会のうごき~

●理事会

- 第3回理事会 8月24日(火) 書面
 - ・広報委員会委員の追加 ほか
- 第4回理事会 10月26日(火) 当協会
 - ・県協会理事会の概要 ほか

●正副会長会議

- 第4回会議 8月24日(火) 書面
 - ・今後の主要行事日程の調整 ほか
- 第5回会議 10月26日(火) 当協会
 - ・役員改選等のスケジュール調整 ほか
- 第6回会議 12月14日(火) 当協会
 - ・各種表彰候補者の選定 ほか

●総務委員会

- 秋の全国交通安全運動への参加
 - ・9月21日(火)~30日(休)
- 年末の交通安全県民運動への参加
 - ・12月15日(火)~31日(金)

●広報委員会

- 第3回会議 9月22日(火) 当協会
 - ・163号の企画
- 第4回会議 12月3日(金) 鳥田市内
 - ・163号の校正

●土木・建築委員会

- 第1回会議 8月24日(火) 書面
 - 静岡県優良建設工事表彰式
 - 9月15日(木) 鳥田土木事務所
 - 鳥田土木事務所との意見交換会
 - 9月28日(火) 鳥田土木事務所
 - 志太榛原農林事務所との意見交換会
 - 9月28日(火) 志太榛原農林事務所

●環境・災害対策委員会

- 道路愛護運動への参加
 - ・7月~8月
- 防災訓練等
 - ・特定家畜伝染病防疫研修会 7月20日(火) WEB

- ・道路啓開指示・伝達ワーキング
 - 7月27日(火) 鳥田土木事務所会議室
- ・県協会による情報伝達訓練
 - 8月31日(火) 全会員
- ・災害情報システムを活用した情報収集・共有訓練
 - 8月24日(火)~31日(火) 鳥田土木事務所 全会員
- ・災害応急対策協力者の出動要請・応諾訓練
 - 焼津漁港管理事務所 9月1日(火) 関係会員
 - 鳥田土木事務所 9月3日(金) 全会員
 - 御前崎港管理事務所 9月10日(金) 関係会員
- ・災害対策用機械操作訓練
 - 静岡国道事務所、静岡河川事務所主催(安倍川河川敷)
 - 9月8日(火) 全会員
- ・道路啓開訓練 11月24日(木) 藤枝総合運動公園

●建災防鳥田分会

- 鳥田地区建設業労働災害防止安全大会
 - 7月6日(火) 夢づくり会館
- 第58回全国建設業労働災害防止大会
 - 10月7日(木)~8日(金) 国立京都国際会館 (WEB同時)
- 安全パトロール
 - ・7月21日(木) 5地区
 - ・11月18日(木) 5地区
 - ・12月16日(木) 5地区

●各種行事等

- 鳥田工業高校生徒との研修会(技士会主催)
 - 11月25日(木) 鳥田工業高校

●今後の予定

- 新年賀詞交歓会 令和4年1月12日(木) ホテルオーレ
- 令和3年度第2回総会 令和4年3月15日(火)



建退共

国が作った退職金制度、建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための建設業の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました！

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主
- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方
- 掛金は
一日 320円

◎法律に基づき運営される国が作った制度

◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価

◎国からの財政上の支援
(国の助成により掛金の一部が免除)

特長

- ◎掛金は全額非課税
(掛金または必要経費に算入できます)
- ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
- ◎加入の手続きは簡単

建退共静岡県支部

〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階

TEL 054-255-6846

建退共本部のホームページを
ぜひ、ごらん下さい

建退共

